

## 令和4年度 土曜日の教育支援 活動事例一覧

市町名	教室数	活動名	対象学校名	主な実施場所	委託	委託団体名
湖南省	9	いしべっ子学習教室	石部小学校	石部まちづくりセンター		
		夏休み宿題教室	石部南小学校	石部南小学校		
		さんさん教室	三雲小学校	学区内のまちづくりセンター等の公共施設		
		ひがしっこ教室	三雲東小学校	三雲まちづくりセンター		
		土曜教室	岩根小学校	岩根まちづくりセンター		
		学校・地域で学ぶ土曜日教室	菩提寺小学校	菩提寺小学校		
		菩提寺学区土曜日の教育支援活動	菩提寺北小学校	菩提寺北小学校 菩提寺まちづくりセンター		
		しもしょう土曜教室	下田小学校	下田まちづくりセンター		
		やってみよう!!みとっこ	水戸小学校	水戸小学校		
東近江市	15	蒲生マックスクラブ 茶道クラブ	蒲生東・西・北 小学校、朝桜中 学校	蒲生コミュニティセンター	○	蒲生地区 地域教育協議会
		蒲生マックスクラブ マックスダンス 初級	蒲生東小学校 蒲生西小学校 蒲生北小学校	蒲生コミュニティセンター	○	
		蒲生マックスクラブ マックスダンス 中級		蒲生コミュニティセンター	○	
		蒲生マックスクラブ マックスダンス 上級		蒲生コミュニティセンター	○	
		蒲生マックスクラブ KIDS FLOWER (キッズフラワー)		蒲生コミュニティセンター	○	
		蒲生マックスクラブ あかねジュニアバンド		蒲生コミュニティセンター	○	
		蒲生マックスクラブ 陶芸クラブ		蒲生コミュニティセンター	○	
		蒲生マックスクラブ わくわくチャレンジ隊		蒲生コミュニティセンター	○	
		蒲生マックスクラブ 蒲生野太鼓わらべ組		蒲生コミュニティセンター	○	
		キッズダンス教室 (初級)		玉緒小学校	わたむきホール	
	キッズダンス教室 (中級)	玉緒小学校		わたむきホール	○	
	小学生のプログラミング教室	玉緒小学校	玉緒小学校	○		
	中学生のプログラミング教室	玉園中学校	池田町 葉菜屋 (はなや) の母屋	○		
	農業体験・田園アートクラブ	玉緒小学校	上大森町 農地・田	○		
	小中学生のネイティブスピーカー英会話	玉緒小学校 玉園中学校	村町の公民館等	○		
竜王町	5	竜王キッズクラブ クッキングクラブ	竜王小学校 竜王西小学校	竜王町農村女性の家 竜王町公民館		
		竜王キッズクラブ サイエンスクラブ		竜王町公民館 他		
		竜王キッズクラブ 書道クラブ		竜王町公民館		
		竜王キッズクラブ チャレンジクラブ		竜王町公民館 他		
		竜王キッズクラブ 竜王ユースプラス		竜王町公民館 他		

## 地域で子どもたちを育てるいしべっ子学習教室

湖南省	活動名：いしべっ子学習教室	石部小学校	学校運営協議会：■有 □無
主な活動場所：石部まちづくりセンター 年間開催日数：5日（10回） 平均参加人数：70人 ・活動内容：■学習支援 □体験活動 □芸術・文化 □スポーツ □その他（ ）		開始年度：平成27年度 地域学校協働活動推進員数：1人 平均スタッフ数：18人	

### ■ 活動の概要・特徴的な活動

長期休業期間に集中して学習に取り組める場を提供し、子どもたちの学習意欲が高まるよう支援している。今年度は宿題などの学習以外に絵ハガキ教室を開いた。

### ■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

まちづくり協議会に協力を依頼し、会場を校区の中心にあるまちづくりセンターに設定した。まちづくり協議会の部会には駐輪場の案内や受付を担当していただき、地域の方が子どもたちを育てる体制づくりを図った。

今年度より、中学生ボランティアを募集した。

### ■ 体系的・継続的な取組にするための工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

学校運営協議会の学習支援委員会が中心となり、協議し、子どもたちが安全に楽しく学習できるように配慮した。宿題のプラス学習としてプリントやオリジナルワークを用意し、終了時間までしっかりと学習できるようにした。

### ■ 事業の成果と課題

地域の学習支援ボランティアやまちづくり協議会の協力で支えられ、のべ348人の子どもたちが参加し、集中して学習に取り組めた。今年度、暑中見舞いハガキを作成する絵ハガキ教室を取り入れたところ、たくさんの子どもたちが参加をし、今後も宿題以外の内容を検討していきたい。以前いしべっ子学習教室に参加していた子が中学生となり、ボランティアとして参加してくれたことがとてもうれしく、今の子どもたちもいつかスタッフとして参加してくれることを期待している。



【 夏休み学習教室の様子 】

報告書記入者（ 地域学校協働活動推進委員 ）

## みなみっこ 土曜講座 「夏休みの宿題を中学生に宿題を教えてもらおう！」

湖南省	活動名：夏休み宿題教室	石部南小学校	学校運営協議会：■有 □無
主な活動場所：石部南小学校 年間開催日数：12日 平均参加人数：40人 ・活動内容：■学習支援 ■体験活動 □芸術・文化 □スポーツ □その他（ ）		開始年度：平成28年度 地域学校協働活動推進員数：1人 平均スタッフ数：10人	

### ■ 活動の概要・特徴的な活動

夏休みの宿題支援（高学年）  
水鉄砲を作ってみよう（高学年）  
プラバンを作ってみよう（低学年）

### ■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

中学生ボランティアに来てもらうように事前に中学校との打ち合わせを行った。毎年協力して下さる地域ボランティアには早めに予定を連絡した。

### ■ 体系的・継続的な取組にするための工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

参加者が多い講座の場合は密にならないように会場を分けて行った。体験教室で使う道具は感染予防対策の為、自分の物を持ってきてもらった。



【 中学生に宿題を教えてもらう様子 】

### ■ 事業の成果と課題

夏休み子ども教室に参加していた卒業生が後輩の子どもたちに宿題を教えている姿がみられた。中学生には自尊感情を高める活動となった。小学生も顔なじみの中学生に教えてもらうことで、スムーズに宿題をすることができた。土曜講座の開催曜日が平日に偏りがちなので親子での参加が少ない。休日に開催することも検討していく必要がある。高学年向けの体験学習に偏りがちなので、低学年向けの内容を検討していく必要がある。

報告書記入者（ 地域学校協働活動推進員 ）

## 地域ぐるみで子どもを見守る「さんさん教室」

湖南省	活動名：さんさん教室	三雲小学校	学校運営協議会：■有 □無
主な活動場所：学区内まちづくりセンター等の公共施設		開始年度：平成27年度	
年間開催日数：10日		地域学校協働活動推進員数：1人	
平均参加人数：20人		平均スタッフ数：12人	
・活動内容：■学習支援 ■体験活動 ■芸術・文化 □スポーツ □その他（ ）			

### ■ 活動の概要・特徴的な活動

夏休みの宿題や自主学習の支援活動を実施した。下学年（1～3年）は、牛乳パックヨーヨーの作成を行った。上学年（4～6年）は、ボランティアサークルより講師を招いて竹とんぼ製作を行った。例年人気のある「抹茶体験」は、全学年を対象に実施した。秋季には、「歴史探訪」（行き先：天保義民碑・弘法杉・八丈岩等）を実施した。

### ■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

三雲学区まちづくり協議会と連携し、各地区からスタッフを配置することで、安全面を配慮した。材料費の支援を受けたり、地域で活動されている人材の紹介をいただいたりした。

### ■ 体系的・継続的な取組にするための工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

コロナ感染症対策として、検温・消毒・換気を行い、会場を4カ所に設定し密を避けるようにした。学年も上学年と下学年を別々の日程とした。また、自作の作品で遊ぶことができるように内容を変更した。「歴史探訪」では、屋外の活動ではあるが、マスクの着用を徹底した。

### ■ 事業の成果と課題

学習だけではなく地域の方と作品作りに取り組むことで、世代間の交流が生まれた。「抹茶体験」では、自分で抹茶を点てるという貴重な体験もすることができた。「歴史探訪」では、チラシを工夫して作成したことで参加者が増えた。参加者からは「地域の歴史を知る良い機会だった」「語り部さんの手作り資料や語りがすごく良かった」との称賛の声が寄せられた。

### ■ その他

甲西中学校の生徒により「スモールティーチャー」が、学習や工作等の活動の見守りとして活躍してくれた。

報告書記入者（地域学校協働活動推進員）



【 中学生による支援活動 】

## 地域と協働して開く「ひがしっこ教室」

湖南省	活動名：ひがしっこ教室	三雲東小学校	学校運営協議会：■有 □無
主な活動場所：三雲まちづくりセンター		開始年度：平成26年度	
年間開催日数：10日（開催ペース：7～8月8回・10月1回・11月1回）		地域学校協働活動推進員数：1人（兼務1人）	
平均参加人数：32人		平均スタッフ数：10人	
・活動内容：■学習支援 ■体験活動 ■芸術・文化 □スポーツ □その他（ ）			

### ■ 活動の概要・特徴的な活動

・甲西中学校区の三校（甲西中学校、三雲小学校、三雲東小学校）、みくも学区まちづくり協議会と連携して計画、実施している。地域で活動中のボランティアサークルに協力いただき、竹とんぼ制作やお抹茶体験、折り紙アート（うちわ制作）、お習字等の体験学習と夏休みの課題学習、自主学習の支援、秋には三雲小学校と合同で「ふるさと歴史探訪」を2回開催している。

### ■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

・みくも学区まちづくり協議会と連携し、体験学習の講師、スタッフの派遣に協力いただいた。【 竹とんぼ制作 】  
 ・地域のボランティアセンター（ボランティアグループ）の活用。  
 ・卒業生（大学生）への参加呼びかけ。 ・甲西中学校から「リトルティーチャー」（生徒ボランティア）。

### ■ 体系的・継続的な取組にするための工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

・会場での検温、消毒、マスク着用、換気、実施前後の机、いすの消毒。密を避けるため広い部屋の利用、学年を低、高学年に分けて参加日を設定した。 ・参加児童、保護者への感想の記入。  
 ・全10回終了後、みくも学区まちづくり協議会、三雲小学校と合同で振り返りの反省会を実施している。

### ■ 事業の成果と課題

・コロナウイルス感染拡大防止対策をしっかりとすることで、児童、スタッフともに安心して参加できた。  
 ・さまざまな工夫や内容から今年度も参加者が多かった（夏休み中に友だちに会える楽しみ、課題学習にしっかりと取り組める環境整備、初めてでもアドバイスをもらいながら挑戦できる習字、竹とんぼ制作や折り紙アート、お抹茶など多様な体験学習）。  
 ・支援する側になって中学生、大学生が毎年参加してくれる。これが成果であり、今後も継続していくことが課題である。

報告書記入者（地域学校協働活動推進員）



## 自尊感情を高める学習支援

～ できた！わかった！が実感できる ～

湖南省	活動名：土曜教室	岩根小学校	学校運営協議会：■有 □無
主な活動場所：岩根まちづくりセンター		開始年度：平成22年度	
年間開催日数：20日		地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）数：2人	
平均参加人数：6人		平均スタッフ数：8人	
活動内容：■学習支援 □体験活動 □芸術・文化 □スポーツ □その他（ ）			

### ■ 活動の概要・特徴的な活動

・通常学級で個別の指導・支援を要する児童（3～4年生）のうち、校内の協議結果に保護者の合意が得られた児童を対象として個別の学習支援を実施している。形態は、全体指導者1名と個別支援者約6名と事務局1名でなされている。国語と算数の基礎的内容を窓口として自尊感情を高めることを目指している。

### ■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

・事務局は、本校の学校支援員を兼ねているため、児童の実態をよく把握している。スタッフは、校区在住の元教員や保育士および教育や福祉等を志す学生等で構成している。  
・前任者からの情報により土曜教室に興味を持って市外から参加する学生もいる。

### ■ 体系的・継続的な取組にするための工夫

・学生スタッフによるグループワークを導入した。  
・指導・支援の質が保てる範囲を維持できる人数にすること。  
・毎回行うスタッフによる反省会によって、個々の児童の課題を共有し、個に応じた手立てを決定する。

### ■ 事業の成果と課題

- カルタなどのグループワークによって、よりよい人間関係づくりができた。
- 失敗経験が多いため、自信を失っている児童が多い。根気よくほめて認めて励ますことで、児童の自信につながり、自尊感情が高まり、学ぶ意欲を引き出すことができた。
- 1対1対応での支援によって、かけ算の九九やカタカナ・漢字の習得ができてきた。
- 家庭の状況が厳しく参加しにくい児童への働きかけが課題である。



【学生によるグループワーク】

報告書記入者（校長）

## 学び、体験 そして地域を知ろう！ 土曜日教室

湖南省	活動名：学校・地域で学ぶ土曜日教室	菩提寺小学校	学校運営協議会：■有 □無
主な活動場所：菩提寺小学校		開始年度：平成26年度	
年間開催日数：10日（開催ペース：1・2か月に1回）		地域学校協働活動推進員数：2人（兼務2人）	
平均参加人数：39人		平均スタッフ数：5人	
活動内容：■学習支援 ■体験活動 ■芸術・文化 □スポーツ □その他（ ）			

### ■ 活動の概要・特徴的な活動

菩提寺学区は小学校二校があり、年10回の活動のうち5回（内1回中止）は、二校合同（内2回、菩提寺まちづくり協議会支援のもと）で開催。

### ■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

地域の方に、講師・指導を依頼。他に支援員としての参加もあった。また、中学校のボランティア部員の参加が大きな支援となっている。  
地元の川に生育する生き物を調べたり、学区内の竹を利用しての作品を作ったりして、地域のことを知る良い機会になっている。

### ■ 体系的・継続的な取組にするための工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

今年度も密にならないように、会場の分散や広い場所を確保。換気等にも注意。

### ■ 事業の成果と課題

まだまだ続くコロナ禍で、制限はあったがほぼ予定通りに開催できた。  
まちづくり協議会からのサポート体制が変わった分、対応を再確認する必要がでてきた。

### ■ その他

広報紙や学校のホームページに活動の様子を載せ、多くの人に本事業を知ってもらえるように努めている。



【地元の川の生き物調べ～第一回活動～】

報告書記入者（地域学校協働活動推進員）

## 土曜日の教育支援活動 ～地域の子供がつながる～ わくわく体験 マジック教室

湖南省	活動名：菩提寺学区土曜日の教育支援活動	菩提寺北小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所：菩提寺北小学校・菩提寺まちづくりセンター 年間開催日数：7日（開催ペース：1.2か月に1回） 平均参加人数：40人 ・活動内容： <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 芸術・文化 <input type="checkbox"/> スポーツ <input type="checkbox"/> その他（ ）		開始年度：平成22年度 地域学校協働活動推進員数：1人 平均スタッフ数：5人	

### ■ 活動の概要・特徴的な活動

菩提寺学区にある菩提寺北小学校と菩提寺小学校の2校が菩提寺まちづくり協議会支援の下、毎年10回開催予定で計画を立てている。（大山川の魚調べ・蛍鑑賞（中止）・学習教室2回・絵画教室・ポンポン船作り・マジック教室・門松作り・書道教室・竹馬作り）計9回 実施

今年度初めて、マジック教室を開催。3種類のマジックを教えてもらい最後には前に出て、皆に披露するところまで指導を受けた。大変楽しそうに参加してくれた。

### ■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

どの活動も、準備をし、指導して下さるのは地域の方々で、長い間続いている活動もあれば、初めてお願いする活動もある。今回取り上げたマジック教室は用務さんがマジックをされているのを聞きお願いしたところ、そのお仲間と共に開催してくれた。

### ■ 体系的・継続的な取組にするための工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

コロナ禍ではあるが、今年度は出来る限り感染対策をしてほぼ実施することができた。（蛍鑑賞は悪天候のための中止）

### ■ 事業の成果と課題

子どもたちはどのようなものにも興味を持ち、やってみたいと思っているのか、また多くの活動で親子参加でとしているので、親子で体験し、面白く参加できるものをこれからも考えていきたい。

### ■ その他

まちづくり協議会からのサポート体制が少し変わった今年度だったが、うまく機能したのではないかと考えている。

両校合同で行う活動のサポート・資金面・参加者の保険など地域の子どもたちへの協力をありがたいと思う。

報告書記入者（地域学校協働活動推進員）



【 不思議な輪っか 】

## 活動が中止に…参加者への対応方法とその後 ～しもしょうサマースクール2022～

湖南省	活動名：しもしょう土曜教室	下田小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所：下田まちづくりセンター 年間開催日数：1日 平均参加人数：10人 ・活動内容： <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 芸術・文化 <input type="checkbox"/> スポーツ <input type="checkbox"/> その他（ ）		開始年度：平成26年度 地域学校協働活動推進員数：3人（兼務2人） 平均スタッフ数：10人	

### ■ 活動の概要・特徴的な活動

今年度はコロナ禍ではあるが、通年のサマースクールの方式に戻す方向で活動を企画した。

下田まちづくりセンターを会場とし、7月20日（水）、21日（木）、22日（金）の3日間、2年生から6年生を対象に募集をしたところ、たくさんの児童が参加申し込みをしてくれた。実施に向けてコーディネーターを中心に準備してきたが、直前になって、下田小学校区内での新型コロナウイルス感染症の感染者が多く出たため、20日の朝8時の時点で中止を決定、参加児童の保護者へ連絡をした。12月23日には、「書道を楽しみましょう」を実施することができた。

### ■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

サマースクールの会場を下田まちづくりセンターにすることで、夏休みなどの長期休みに下田小学校の児童が地域の施設を利用していることを地域の方々にも知ってもらい、地域の方々とのコミュニケーションのきっかけになればと考えている。

### ■ 体系的・継続的な取組にするための工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

今年度より、参加児童保護者との連絡方法として SNS を利用することにし、募集チラシや2次案内に QR コードをつけておき、登録をお願いした。今回中止となり、その連絡にも SNS を使うことができ、コーディネーターの負担が軽減した。

### ■ 事業の成果と課題

問い合わせにも SNS を利用することで、コーディネーターと保護者の双方が時間などを気にせず都合の良いときにやり取りができるようになり、保護者のささいな疑問の解決にも役立った。ただ、保護者の中には登録をしていない方もいたので、活動中止の連絡は学校からタウンメールも送信してもらい全体に伝わるよう工夫した。

### ■ その他

活動中止となったことを保護者に連絡もしたが、連絡漏れで児童が会場に来る可能性があるためコーディネーターが集合時間に会場で待っていたところ、中止と知っている児童が友達と一緒に会場である下田まちづくりセンターで夏休みの宿題をするため集まってきた。まちづくりセンターの職員の方に児童が許可をいただき、空調のあるロビーで宿題をさせてもらえることになった。児童が自主的に地域の施設を利用できるのも、地域の方々の理解と見守りがあるからこそだと感謝している。

報告書記入者（地域学校協働活動推進員）

湖南省	活動名：やってみよう！みとっこ	水戸小学校	学校運営協議会：■有 □無
主な活動場所：水戸小学校 図工室 年間開催日数：10日（開催ペース：1日） 平均参加人数：20人 ・活動内容：■学習支援 ■体験活動 ■芸術・文化 □スポーツ ■その他（ 地域活動 ）		開始年度：26年度 地域学校協働活動推進員数：2人（兼務2人） 平均スタッフ数：3人	

- 活動の概要・特徴的な活動
  - ・夏休み、冬休みに同じ中学校区の小学生、中学生、大人が共に活動する場をつくる。
  - ・地域活動（水戸菜園・清掃作業）への参加。
- 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫
  - ・CS理事会で話し合いを重ね、保護者や子どもたちに地域の一員として行事への参加を発信。その際学校の学習とつながりが持てるように工夫した。
- 体系的・継続的な取組にするための工夫（コロナ禍における工夫・対応等）
  - ・夏はクラフトづくり、冬は書道教室を開催した。学年を制限し人数が増えた場合は教室を分けて対応。夏休み、冬休み初日に設定することで体調管理も不安なく行えた。
  - ・地域のセンターがワクチン接種会場となったり感染症予防対策で納涼祭と敬老会、まちづくりフェスタが中止となった。敬老会では地域のおじいちゃんとおばあちゃんに子どもたちが書いたお手紙をお弁当に添える予定だったが後日自治会や民生委員さんから手渡してもらうこととした。
- 事業の成果と課題
  - ・コロナ禍で人が集まるといことが少なくなっている中で、小・中学生と大人も一緒にものづくりに取り組めてよかった。夏休みも冬休みも募集を6年生限定にしていたので来年度は対象を広げられるようになればと思う。地域に子どもたちが活躍できる場を、と計画を立てているが中止になった際、地域の方や団体との円滑なコミュニケーションをはかる重要性を再認識した。
- その他
  - ・学校に来てくださる方は子どもたちとの活動を楽しんで主体的に参加しておられるが、学校のために「してあげている」ようなところがまだまだある。活動を続け発信していくことで地域の方に「水戸の子がいるやん！子どもたちに任せよう」と言ってもらえたり、それが子どもたちの自信につながるような取組みをしていきたい。



【 冬休み 書道教室 】

報告書記入者（ 地域学校協働活動推進員 ）

子どもの五感を最大限に使って豊かな心や生きる力を育む

東近江市	活動名：蒲生マックスクラブ 茶道クラブ	蒲生東・西・北小学校 朝桜中学校	学校運営協議会：□有 ■無
主な活動場所：蒲生コミュニティセンター 年間開催日数：10日（開催ペース：月1日） 平均参加人数：8人 ・活動内容：□学習支援 □体験活動 ■芸術・文化 □スポーツ □その他（ ）		開始年度：平成14年度 地域学校協働活動推進員数：1人（兼務1人） 平均スタッフ数：1人	

- 活動の概要・特徴的な活動
  - ・茶道経験のない子がほとんどなので基本から学んでいる。
  - ・茶道の所作と併せて基本的な礼儀作法についても話をしている。
- 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫
  - ・指導者を見つけるために人材バンクやボランティアグループのリストを利用している。他に指導者間のネットワークも利用。
- 体系的・継続的な取組にするための工夫（コロナ禍における工夫・対応等）
  - ・年度末に体験教室を開き、面白さや楽しさをより多くの子どもたちに感じてもらう次年度のクラブ員増につながるよう工夫をしている。
  - ・コロナ対応としては、活動中のマスク着用はもちろん、活動を始める前にも大人全員の検温および手指消毒を実施している。
- 事業の成果と課題
  - ・クラブ員はより深く茶道を理解することにより、積極的に練習に集中する様子が見られる。
  - ・初心者と継続のクラブ員とで同じ内容を教えるのに無理があるときもある。
  - ・動き自体が地味なものなので、その面白さが理解されにくい。



【 お稽古の様子 】

報告書記入者（ 蒲生マックスクラブ 事務局 ）

## 子どもの五感を最大限に使って豊かな心や生きる力を育む

東近江市	活動名： 蒲生マックスクラブ マックスダンス 初級	蒲生東・西・北小学校 学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
主な活動場所： 蒲生コミュニティセンター		開始年度： 平成 24 年度
年間開催日数： 10 日（開催ペース： 月 1 日）		地域学校協働活動推進員数： 1 人（兼務 1 人）
平均参加人数： 18 人		平均スタッフ数： 1 人
・活動内容： <input type="checkbox"/> 学習支援 <input type="checkbox"/> 体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 芸術・文化 <input type="checkbox"/> スポーツ <input type="checkbox"/> その他（ ）		

- 活動の概要・特徴的な活動
  - ・初級のメンバーはほとんどがダンス未経験者である。また低学年が多い。
  - ・基礎的なステップを中心にダンスの練習を行っている。
- 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫
  - ・指導者同士のネットワークを利用し指導者の確保に努めている。
- 体系的・継続的な取組にするための工夫（コロナ禍における工夫・対応等）
  - ・初級クラスにおいては、練習でも発表でも常に楽しい雰囲気大切にしている。そのため、子どもたちの意欲が継続し高まるように工夫している。
  - ・初級はメンバー数が多いので、より広い場所（小ホールフロア）に会場を移して密にならないようにしているが、小ホール事業の関係で十分な練習時間が取れないことがある。
- 事業の成果と課題
  - ・子どもたちは意欲的に教室に参加している。保護者も協力的である。
  - ・今まで継続的に行われてきた教室であるため、翌年はレベルを上げた教室に参加する子どもが多く、段階を経て上達することができている。
  - ・練習時間が短いため全体の動きを合わせるの難しいことがある。



【 練習の様子 】

報告書記入者（ 蒲生マックスクラブ 事務局 ）

## 子どもの五感を最大限に使って豊かな心や生きる力を育む

東近江市	活動名： 蒲生マックスクラブ マックスダンス 中級	蒲生東・西・北小学校 学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
主な活動場所： 蒲生コミュニティセンター		開始年度： 平成 26 年度
年間開催日数： 10 日（開催ペース： 月 1 日）		地域学校協働活動推進員数： 1 人（兼務 1 人）
平均参加人数： 10 人		平均スタッフ数： 1 人
・活動内容： <input type="checkbox"/> 学習支援 <input type="checkbox"/> 体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 芸術・文化 <input type="checkbox"/> スポーツ <input type="checkbox"/> その他（ ）		

- 活動の概要・特徴的な活動
  - ・初級クラスより難度の高いステップを中心に、フリースタイルダンスの練習を行っている。
  - ・初級クラスでダンス経験を積んだ子どもたちの加入が多く、より高度な内容で目標を定めて活動を行っている。
- 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫
  - ・指導者同士のネットワークを利用し指導者の確保に努めている。
- 体系的・継続的な取組にするための工夫（コロナ禍における工夫・対応等）
  - ・みんなで共通の目標を持ちながら活動するようにしている。
  - ・目標を持たせ、子どもたちもメリハリを持って練習に取り組めるように工夫している。初級を終えた子どもが中級へ進みやすいように同じ指導者が体系的に教えてくれている。
  - ・少人数のため密にはならないが、活動中は常に窓を開けておくなど、換気に注意している。また活動前に検温と手指消毒を行っている。
- 事業の成果と課題
  - ・子どもたちはより難度の高い技能を希望するようになり、意欲的な取組の姿勢が見られた。
  - ・ダンスが高度になるほど、その技能の習得にも個人差が出てくるためステージ発表をどのレベルで納得させ、演技するのが指導者として難しい。



【 練習の様子 】

報告書記入者（ 蒲生マックスクラブ 事務局 ）

## 子どもの五感を最大限に使って豊かな心や生きる力を育む

東近江市	活動名：蒲生マックスクラブ マックスダンス 上級	蒲生東・西・北小学校	学校運営協議会：□有 ■無
主な活動場所：蒲生コミュニティセンター		開始年度：平成 27 年度	
年間開催日数：10 日（開催ペース：月 1 日）		地域学校協働活動推進員数：1 人（兼務 1 人）	
平均参加人数：10 人		平均スタッフ数：1 人	
・活動内容：□学習支援 □体験活動 ■芸術・文化 □スポーツ □その他（ ）			

### ■ 活動の概要・特徴的な活動

- ・中級クラスより難度の高いステップを中心に、フリースタイルダンスの練習を行っている。
- ・中級クラスでダンス経験を積んだ子どもたちの加入が多く、より高度な内容で目標を定めて活動を行っている。

### ■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

- ・指導者同士のネットワークを利用し指導者の確保に努めている。

### ■ 体系的・継続的な取組にするための工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

- ・みんなで共通の目標を持ちながら活動するようにしている。
- ・目標を持たせ、子どもたちもメリハリを持って練習に取り組めるように工夫している。中級を終えた子どもが上級へ進みやすいように同じ指導者が体系的に教えてくれている。

### ■ 事業の成果と課題

- ・子どもたちはより難度の高い技能やステージ発表を希望するようになり、意欲的な取組の姿勢が見られた。
- ・ダンスが高度になるほど、その技能の習得にも個人差が出てくるため、ステージ発表をどのレベルで納得させ、演技するのが指導者として難しい。



【 練習の様子 】

報告書記入者（蒲生マックスクラブ 事務局）

## 子どもの五感を最大限に使って豊かな心や生きる力を育む

東近江市	活動名：蒲生マックスクラブ KIDS FLOWER（キッズフラワー）	蒲生東・西・北小学校	学校運営協議会：□有 ■無
主な活動場所：蒲生コミュニティセンター		開始年度：平成 14 年度	
年間開催日数：6 日（開催ペース：2 か月に 1 日）		地域学校協働活動推進員数：1 人（兼務 1 人）	
平均参加人数：16 人		平均スタッフ数：2 人	
・活動内容：□学習支援 □体験活動 ■芸術・文化 □スポーツ □その他（ ）			

### ■ 活動の概要・特徴的な活動

- ・フラワーアレンジメントの基礎的な作り方やアレンジの方法を習得する。
- ・じっくりと落ち着いて取り組むことで、創造することの楽しさを味わってもらう。

### ■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

- ・指導者同士のネットワークを利用し指導者の確保に努めている。

### ■ 体系的・継続的な取組にするための工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

- ・楽しみながら活動することを通じて、仲間づくりもできるように工夫している。
- ・作品を年度末のマックスクラブ発表会などに展示して、創作意欲を高めるようにしている。

### ■ 事業の成果と課題

- ・熱心に作成する子どもたちの様子から集中力や持続力を養えたと考える。
- ・フラワーアレンジメントに対するアレンジ力や創造力が身についた。
- ・材料費がかかるため、少ない予算の中で充実した活動を行うのは大変である。



【 活動の作品 】

報告書記入者（蒲生マックスクラブ 事務局）



## 子どもの五感を最大限に使って豊かな心や生きる力を育む

東近江市	活動名 : 蒲生マックスクラブ あかねジュニアバンド	蒲生東・西・北小学校	学校運営協議会 : <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
主な活動場所 : 蒲生コミュニティセンター		開始年度 : 平成 28 年度	
年間開催日数 : 45 日 (開催ペース : 週 1 日)		地域学校協働活動推進員数 : 1 人 (兼務 1 人)	
平均参加人数 : 13 人		平均スタッフ数 : 2 人	
・活動内容 : <input type="checkbox"/> 学習支援 <input type="checkbox"/> 体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 芸術・文化 <input type="checkbox"/> スポーツ <input type="checkbox"/> その他 ( )			

### ■ 活動の概要・特徴的な活動

- ・子どもの健康を考え、永久歯が生えそろう小学3年生以上を対象にしている。
- ・週1回の合同練習と楽器を家に持ち帰っての練習で、技術レベルが落ちないようにしている。

### ■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

- ・クラブ員の保護者など、経験のある方の協力を得ている。
  - ・指導者の知り合いなどで他地域の指導をしている方の協力も得ている。
- ### ■ 体系的・継続的な取組にするための工夫 (コロナ禍における工夫・対応等)
- ・練習が単調にならないよう簡単な曲を演奏するようにしている。
  - ・発表会や地域のイベントに出場して、ステージ発表に対する意欲を高めるとともに、年間の活動についてもメリハリをつけるようにしている。

### ■ 事業の成果と課題

- ・曲が演奏できるようになると、よりよいものへと子どもたちも求めるようになってきた。
- ・保護者の方で楽器心得のある方が補助としてサポートしてくれている。
- ・週一回の練習のため、上達速度が遅い。個人差または学年差があり、全員のレベルをそろえるのが難しい。
- ・クラブ員数が年度によって違うため、一定の演奏レベルを保つのが難しい。

### ■ その他

- ・コロナ禍のため、息を吐く吹奏楽はより感染防止に気を使わざるを得ない。



【 発表会の様子 】

報告書記入者 ( 蒲生マックスクラブ 事務局 )

## 子どもの五感を最大限に使って豊かな心や生きる力を育む

東近江市	活動名 : 蒲生マックスクラブ 陶芸クラブ	蒲生東・西・北小学校	学校運営協議会 : <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
主な活動場所 : 蒲生コミュニティセンター		開始年度 : 平成 14 年度	
年間開催日数 : 10 日 (開催ペース : 月 1 日)		地域学校協働活動推進員数 : 1 人 (兼務 1 人)	
平均参加人数 : 15 人		平均スタッフ数 : 2 人	
・活動内容 : <input type="checkbox"/> 学習支援 <input type="checkbox"/> 体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 芸術・文化 <input type="checkbox"/> スポーツ <input type="checkbox"/> その他 ( )			

### ■ 活動の概要・特徴的な活動

- ・好きな作品を作ったり絵付けをしたりして、思い思いの作品作りをしている。
- ・マックスクラブ発表会で地域の子どもたちに体験教室を実施している。

### ■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

- ・職員以外の人にも声をかけ、幅広く人材を探している。
- ・クラブ員の保護者に当番制を敷き、活動日には1名ずつ補助として入ってもらっている。

### ■ 体系的・継続的な取組にするための工夫 (コロナ禍における工夫・対応等)

- ・子どもの自主性を尊重し出来るだけ指導者は手を出さないようにしている。
- ・体験教室を実施することで、その面白さや楽しさを他の子どもたちに体験してもらいクラブ員を増やす工夫をしている。
- ・活動時は間隔を空け隣接した子ども同士の感染に注意している。

### ■ 事業の成果と課題

- ・陶芸に関心のある子どもが増えており、常にクラブ員が一定数集まる。
- ・作陶に積極的に取り組み、作品作りに集中する様子が見られた。
- ・制作時間に個人差があるが、早く終わった子どもには複数の作品制作をすすめている。



【 作陶の様子 】

報告書記入者 ( 蒲生マックスクラブ 事務局 )

## 子どもの五感を最大限に使って豊かな心や生きる力を育む

東近江市	活動名： 蒲生マックスクラブ わくわくチャレンジ隊	蒲生東・西・北小学校 学校運営協議会：□有 ■無
主な活動場所：蒲生コミュニティセンター 年間開催日数：7日（開催ペース：1～2か月に1日） 平均参加人数：11人 ・活動内容：□学習支援 ■体験活動 □芸術・文化 □スポーツ ■その他（郷土学習）		開始年度：平成20年度 地域学校協働活動推進員数：1人（兼務1人） 平均スタッフ数：4人

- 活動の概要・特徴的な活動
  - ・館外活動が基本であり、子どもの五感を使っでの活動をこころがけている。
  - ・地域の自然にふれあいながら、新たな発見を体験する。
  - ・低学年は保護者と一緒に、高学年は自分一人で活動してもらっている。
- 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫
  - ・蒲生地区にお住まいの方で協力していただける方を、その回の内容に応じて依頼している。
- 体系的・継続的な取組にするための工夫（コロナ禍における工夫・対応等）
  - ・活動内容の中で継続して観察するものや比較して違いを認識するものなどでクラブ員の興味を引き付けるようにしている。
- 事業の成果と課題
  - ・東近江地域への理解を深めることができた。
  - ・クラブ員に年齢差があり、同じ内容の活動をして遅い早いが出て来る。
  - ・活動場所が野外のため、天候に左右される場合がある。
  - ・指導者が特定の団体のため、事業が似たようなものになってくる。



【 登山の様子 】

報告書記入者（ 蒲生マックスクラブ 事務局 ）

## 子どもの五感を最大限に使って豊かな心や生きる力を育む

東近江市	活動名： 蒲生マックスクラブ 蒲生野太鼓わらべ組	蒲生東・西・北小学校 学校運営協議会：□有 ■無
主な活動場所：蒲生コミュニティセンター 年間開催日数：27日（開催ペース：週1日） 平均参加人数：15人 ・活動内容：□学習支援 □体験活動 ■芸術・文化 □スポーツ □その他（ ）		開始年度：平成14年度 地域学校協働活動推進員数：1人（兼務1人） 平均スタッフ数：5人

- 活動の概要・特徴的な活動
  - ・基本的な和太鼓の演奏方法を学習する。
  - ・和太鼓文化に触れながら、演奏技術の向上と集団で演奏する楽しさを学ぶ。
  - ・通常の練習は、初心者と経年者を時間差で分けて練習している。
- 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫
  - ・わらべ組を卒業した高校生や大学生・社会人などに指導してもらっている。
- 体系的・継続的な取組にするための工夫（コロナ禍における工夫・対応等）
  - ・習熟度別に初心者向きと中級者向きとに分かれて練習し、子どもたちの意欲が途切れないように工夫している。
  - ・先輩が後輩を指導する等の縦のつながりも大切にしながら活動している。
  - ・練習時間をいつもより短くして、マスクをしながら練習している。
- 事業の成果と課題
  - ・マックスクラブを卒業しても、上部団体の「鈴温泉太鼓」に加入し、和太鼓を続けるクラブ員が多い。後輩（わらべ組）の指導にも積極的に協力してくれるので、小中学生と青少年層とのつながりができている。



【 発表会の様子 】

報告書記入者（ 蒲生マックスクラブ 事務局 ）

夢中になれるものを見つけよう。ダンスは皆を笑顔にしてくれる！

東近江市	活動名 : キッズダンス (初級)	玉緒小学校	学校運営協議会 : <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
主な活動場所: わたむきホール 年間開催日数: 48日 (開催ペース: 月4日) 平均参加人数: 10人 ・活動内容: <input type="checkbox"/> 学習支援 <input type="checkbox"/> 体験活動 <input type="checkbox"/> 芸術・文化 <input checked="" type="checkbox"/> スポーツ <input type="checkbox"/> その他 ( )		開始年度: 平成27年度 地域学校協働活動推進員数: 1人 平均スタッフ数: 2人	

- 活動の概要・特徴的な活動  
 インストラクターの指導により、低学年層の子供達を中心に、初歩的なレッスンから初めて、基本動作を身につけていく。又、音楽や他の人とも合わせられる事を重点に初級での上達を図ってみた。
- 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫  
 今年はコロナ禍でもあり、地元等への発表は控えた。
- 体系的・継続的な取組にするための工夫 (コロナ禍における工夫・対応等)  
 新型コロナウイルス感染症が長引き、わたむきホールに会場を変えてダンス会場の換気、教室の消毒、体温測定、手指の消毒等を厳重に行った。
- 事業の成果と課題  
 コロナ禍による巣ごもりでの運動不足解消には大きな成果があったと考える。



【 教室の様子 】

報告書記入者 ( 玉緒地区地域教育協議会 代表 )

夢中になれるものを見つけよう。ダンスは皆を笑顔にしてくれる！

東近江市	活動名 : キッズダンス (中級)	玉緒小学校	学校運営協議会 : <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
主な活動場所: わたむきホール 年間開催日数: 48日 (開催ペース: 月4日) 平均参加人数: 10人 ・活動内容: <input type="checkbox"/> 学習支援 <input type="checkbox"/> 体験活動 <input type="checkbox"/> 芸術・文化 <input checked="" type="checkbox"/> スポーツ <input type="checkbox"/> その他 ( )		開始年度: 平成27年度 地域学校協働活動推進員数: 1人 平均スタッフ数: 2人	

- 活動の概要・特徴的な活動  
 インストラクターの指導により、低学年層の子供達を中心に、初歩的なレッスンから初めて、基本動作を身につけていく。又、音楽や他の人とも合わせられる事を重点に中級での上達を図ってみた。
- 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫  
 今年はコロナ禍でもあり、地元等への発表は控えた。
- 体系的・継続的な取組にするための工夫 (コロナ禍における工夫・対応等)  
 ダンス会場の換気、教室の消毒、体温測定、手指の消毒等を厳重に行った。
- 事業の成果と課題  
 子どもがダンスに興味を持てた。今後仲間づくりの視点を大切にしていきたい。



【 教室の様子 】

報告書記入者 ( 玉緒地区地域教育協議会 代表 )

## プログラミングで楽しもう！

東近江市	活動名：小学生のプログラミング教室	玉緒小学校	学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
主な活動場所：玉緒小学校内		開始年度：令和3年度	
年間開催日数：5日（開催ペース：月1日）		地域学校協働活動推進員数：1人	
平均参加人数：12人		平均スタッフ数：2人	
・活動内容： <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 <input type="checkbox"/> 体験活動 <input type="checkbox"/> 芸術・文化 <input type="checkbox"/> スポーツ <input type="checkbox"/> その他（ ）			

- 活動の概要・特徴的な活動  
パソコンの起動など初歩的な所から始めた。子どものスキルに合わせて取り組んだ。
- 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫  
平和堂の催し、発表会に参加した。
- 体系的・継続的な取組にするための工夫（コロナ禍における工夫・対応等）  
手指の消毒の徹底。マスク、体温測定は事前に行い、教室の換気も行った。
- 事業の成果と課題  
楽しんで活動することができた。コマンドの利用ができるようになった。



【 平和堂の催しに参加 】

報告書記入者（ 玉緒地区地域教育協議会 代表 ）

## プログラミングで楽しもう！

東近江市	活動名：中学生のプログラミング教室	玉園中学校	学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
主な活動場所：池田町 葉菜屋の母屋		開始年度：令和3年度	
年間開催日数：10日（開催ペース：週1回）		地域学校協働活動推進員数：1人	
平均参加人数：4人		平均スタッフ数：2人	
・活動内容： <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 <input type="checkbox"/> 体験活動 <input type="checkbox"/> 芸術・文化 <input type="checkbox"/> スポーツ <input type="checkbox"/> その他（ ）			

- 活動の概要・特徴的な活動  
パソコンの起動など初歩的な所から始めた。子どものスキルに合わせて取り組んだ。
- 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫  
平和堂の催し、発表会に参加した。
- 体系的・継続的な取組にするための工夫（コロナ禍における工夫・対応等）  
手指の消毒の徹底。マスク、体温測定は事前に行い、教室の換気も行った。
- 事業の成果と課題  
子どもたちが楽しめた。  
コマンドの利用ができるようになった。



【 プログラム画面 】

報告書記入者（ 玉緒地区地域教育協議会 代表 ）

## 自然を楽しもう！

東近江市	活動名：農業体験・田園アートクラブ	玉緒小学校	学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
主な活動場所：上大森町 農地・田		開始年度：令和3年度	
年間開催日数：2日（開催ペース：月1日）		地域学校協働活動推進員数：1人	
平均参加人数：20人		平均スタッフ数：2人	
・活動内容： <input type="checkbox"/> 学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 体験活動 <input type="checkbox"/> 芸術・文化 <input type="checkbox"/> スポーツ <input type="checkbox"/> その他（ ）			

- 活動の概要・特徴的な活動
  - ・自然の中での田園や畑で走り回る事で、健全な遊びにより健康の増進を図り、情操を豊かにする。
- 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫
  - ・豊かな田園資源の活用で大人と子どもで楽しみ、心身の健全な育成を図る。
- 体系的・継続的な取組にするための工夫（コロナ禍における工夫・対応等）
  - ・マスクの着用、アルコールで手指の消毒、手洗いの励行を行う。
  - ・密集密接にならないように工夫する。
- 事業の成果と課題
  - ・事業を行う日程の都合上、天候に左右されやすい。
- その他
  - ・地元の農家さん等の協力が必要。



【 芋掘り体験 】

報告書記入者（ 玉緒地区地域教育協議会 代表 ）

## 英語を楽しもう！

東近江市	活動名：小中学生のネイティブスピーカー英会話	玉緒小学校・玉園中学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 無
主な活動場所：村町の公民館等		開始年度：令和3年度	
年間開催日数：10日（開催ペース：週1回）		地域学校協働活動推進員数：2人	
平均参加人数：5人		平均スタッフ数：2人	
・活動内容： <input type="checkbox"/> 学習支援 <input type="checkbox"/> 体験活動 <input type="checkbox"/> 芸術・文化 <input type="checkbox"/> スポーツ <input checked="" type="checkbox"/> その他（英会話 ）			

- 活動の概要・特徴的な活動
  - ・児童・生徒のレベルに沿った英会話レッスンを行う。
  - ・子どもの英語の活用力を育てる。
- 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫
  - ・従来から子どもキッズ活動に参加していた子が大きくなり、英語を教えに参加してくれる。
- 体系的・継続的な取組にするための工夫（コロナ禍における工夫・対応等）
  - ・マスクの着用、アルコールで手指の消毒、手洗いの励行を行う。
  - ・密集密接を避けて換気を十分に行う。
  - ・身近な会話の中で英語に親しみを持ち、活用できるようにする。
- 事業の成果と課題
  - ・英語に親しみを覚え、日常会話の中で活用できる。
  - ・自然に使えるように、少しずつ行っていく。



【 活動の様子 】

報告書記入者（ 玉緒地区地域教育協議会 代表 ）

## 目指せ！なんでも作れるパティシエを

竜王町	活動名：竜王キッズクラブ クッキングクラブ	竜王小学校・竜王西小学校 学校運営協議会：■有 □無
主な活動場所：竜王町農村女性の家・竜王町公民館		開始年度：平成27年度（中断年度あり）
年間開催日数：年間6日（開催ペース：2～3か月に1回）		地域学校協働活動推進員数：3名（兼務3名）
平均参加人数：16名		平均スタッフ数：1名
・活動内容：□学習支援 ■体験活動 □芸術・文化 □スポーツ □その他（ ）		

### ■ 活動の概要・特徴的な活動

・町内在住の健康推進員（栄養士）を講師に迎え、調理の基礎を学びながら、技能の向上をはかり、両小学校の異年齢の子どもたち同士が地域の人々との交流を深め、何事にも挑戦する勇気を育み、自らの可能性を切り拓く「生きる力」を身につける。

### ■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

・町健康推進員を長年務めておられる地元栄養士の方の指導を受けることで、お菓子作りを通じて健康や栄養について分かり易く学ぶことができる。

### ■ 体系的・継続的な取組にするための工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

・地元の特産品（果樹等）を活用し、季節イベントにあったおうちでも簡単に作れるお菓子や料理作りをしている。

・感染拡大防止のために始めたすべての工程をひとりで調理することが、結果、自立に繋がっている。

### ■ 事業の成果と課題

・おうちでも実際に作ったりすることで、親子の時間作りやおうちの手伝いもできるようになり、家庭での実践に結びついている。

・感染対策の一環から、全ての工程を一人で調理することで、調理の実践力が高まっている。

・クラブで習得した調理技術が、家庭でのお手伝いの幅を広げている。また、家族間のコミュニケーションが高まっている。

・子どもにもわかりやすいようにイラストを挿入したレシピの作成や食材の買い出しなど、職員の負担は大きい。



【 クリスマスケーキ作り 】

報告書記入者（ 公民館 公民館係 ）

## ボクもワタシもワクワク科学博士

竜王町	活動名：竜王キッズクラブ サイエンスクラブ	竜王小学校・竜王西小学校 学校運営協議会：■有 □無
主な活動場所：竜王町公民館 他		開始年度：平成18年度
年間開催日数：年間8日（開催ペース：2か月に1回）		地域学校協働活動推進員数：3名（兼務3名）
平均参加人数：16名		平均スタッフ数：3名
・活動内容：■学習支援 ■体験活動 □芸術・文化 □スポーツ ■その他（ 郷土学習 ）		

### ■ 活動の概要・特徴的な活動

・小学校1年生～6年生までの異年齢の子どもたちが地域の人々との交流を深めながら、科学工作や実験等を通じて、新しい学びや技能の向上をはかり、何事にも挑戦する勇気を育み、自らの可能性を切り拓く「生きる力」を身につける。

### ■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

・地元の自然に関する書籍等の編纂に携わり、自然観察や自然素材を使った工作教室などを手がけている団体や元教師が講師として指導をすることで、低学年の子どもでも分かり易く学ぶことができる。

### ■ 体系的・継続的な取組にするための工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

・参加者は低学年が多いため、原則保護者同伴で開催をしているので、兄弟等小さい子どもがいる家庭は、事前に連絡をいただき家族参加も可能としている。

・屋内での活動は間隔を広くとるなど、密にならないように工夫している。

### ■ 事業の成果と課題

・天体観望（夏・冬）、自然観察会、野鳥観察会、科学工作など、サイエンスに関わるいろいろな活動内容を楽しく学ぶ機会を提供することにより、理科離れが叫ばれる昨今ではあるが、サイエンスをはじめ何事にも興味を持ち、挑戦していく力を養うことができた。

・家族参加も可能なため、家族間の交流も深まり、情報交換や共有の場にもなった。

・活動開始から10年以上が経過しているが、1年生から参加できるクラブのため人気が高い。一方、低学年は保護者同伴とはいえ、対象者が1年生から6年生までと幅広く、みんなの歩調を合わせた活動の進め方が難しい。



【 野鳥観察 】

報告書記入者（ 公民館 公民館係 ）

## 5 一筆一筆に心を込めて思いを伝える

竜王町	活動名：竜王キッズクラブ 書道クラブ	竜王小学校・竜王西小学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所：竜王町公民館 年間開催日数：年間22日（開催ペース：月2回） 平均参加人数：18名 ・活動内容： <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 <input type="checkbox"/> 体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 芸術・文化 <input type="checkbox"/> スポーツ <input type="checkbox"/> その他（ ）		開始年度：平成23年度 地域学校協働活動推進員数：3名（兼務3名） 平均スタッフ数：2名

### ■ 活動の概要・特徴的な活動

- ・書道を基礎から学び、硬筆と毛筆の技能向上はもちろんのこと、両小学校の異なる年齢の子どもたち同士が地域の人々との交流を深め、何事にも挑戦する勇気を育み、自らの可能性を切り拓く「生きる力」を身につける。

### ■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

- ・県の展覧会等でも受賞経験のある有段者（元町職員）が講師として指導をすることで職員との連携や情報共有が取りやすい。

### ■ 体系的・継続的な取組にするための工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

- ・小学校2年生から6年生までの小学生を対象として、同じ教材をもとに継続した取り組みができていますので、6年生まで継続してくれる子どもが多い。
- ・マスクの着用はもちろんのこと、机に1人ずつ着席し、密を回避している。

### ■ 事業の成果と課題

- ・技能の向上をめざして、練習（復習）を重ねる継続した取り組みにより、進歩が形となって現れるため、何事にも挑戦し、あきらめない力を養うことができた。
- ・展覧会への出展や町公民館等で定期的に展示することにより、自信や達成感となり、次へと飛躍する原動力となった。
- ・月2回のペースで開催をしているため、学校行事や他の習い事などと重なり、日程変更をする場合の調整に苦慮している。



【 毛筆練習 】

報告書記入者（ 公民館 公民館係 ）

## 仲間とともに限界にチャレンジ

竜王町	活動名：竜王キッズクラブ チャレンジクラブ	竜王小学校・竜王西小学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所：竜王町公民館 他 年間開催日数：8日（開催ペース：2か月に1回） 平均参加人数：21名 ・活動内容： <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 体験活動 <input type="checkbox"/> 芸術・文化 <input checked="" type="checkbox"/> スポーツ <input checked="" type="checkbox"/> その他（ 郷土学習 ）		開始年度：平成22年度 地域学校協働活動推進員数：3名（兼務3名） 平均スタッフ数：3名

### ■ 活動の概要・特徴的な活動

- ・県内にある屋内外の体験施設等を訪問し、チャレンジをしながら、両小学校の異なる年齢の子どもたち同士が地域の人々や仲間と交流を深め、協力しあう大切さ何事にも挑戦する勇気を育み、自らの可能性を切り拓く「生きる力」を身につける。

### ■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

- ・町生活安全課や消防署、赤十字奉仕団等のボランティア団体の協力を得ながら、活動内容を組むことで、普段の学校生活では体験できないことを体感知識を身に付けられる。

### ■ 体系的・継続的な取組にするための工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

- ・感染拡大防止のため、原則クラブ生のみでの参加を条件として開催している。
- ・今まで泊まりで開催していた防災キャンプは感染拡大防止対策として日帰りの防災キャンプに変更して開催している。

### ■ 事業の成果と課題

- ・野外活動が中心となるため安全管理を十分に行う必要があり、職員だけでは十分でないため、保護者等の協力を得なければ活動が難しいことがある。野外活動のボランティア確保が必要である。
- ・カヌー体験、防災デイキャンプ、スキー教室等では、受講料以外の諸経費を毎回負担金として徴収するため保護者の負担が大きい。普段体験できない貴重な経験ができるということで保護者の理解は得られている。
- ・活動内容のマンネリ化や小学生が体験できる屋外アクティビティには、子どもの安全確保のため、大人の引率が必要など様々な条件が重なり内容の決定に苦慮している。
- ・野外活動が中心となるため、天候に左右され実施できないことが多い。



【 アドベンチャー体験 】

報告書記入者（ 公民館 公民館係 ）

## 輝け！煌めけ！子ども吹奏楽団

竜王町	活動名：竜王キッズクラブ 竜王ユースプラス	竜王小学校・竜王西小学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所：竜王町公民館 他		開始年度：昭和62年度
年間開催日数：年間50日（開催ペース：毎週土曜日）		地域学校協働活動推進員数：3名（兼務3名）
平均参加人数：15名		平均スタッフ数：3名
・活動内容： <input type="checkbox"/> 学習支援 <input type="checkbox"/> 体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 芸術・文化 <input type="checkbox"/> スポーツ <input type="checkbox"/> その他（ ）		

### ■ 活動の概要・特徴的な活動

- ・音楽の基礎知識を学びながら演奏技能の向上と両小学校の異年齢の子ども同士が発表会等により地域の人々との交流を深め、何事にも挑戦する勇気を育み、自らの可能性を切り拓く「生きる力」を身につける。

### ■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

- ・地元企業のサークルで活躍する方や元教師の方が講師として指導を行うことで、わかり易く学ぶことができる。

### ■ 体系的・継続的な取組にするための工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

- ・3名の講師が各個人の技能にあわせた練習をすることができる。
- ・希望楽器の調査を行い、講師が体格や肺活量をみて子どもにあった楽器を選べる。
- ・卒業生のほとんどが、中学校で吹奏楽部に入部するため、継続した活動ができる。
- ・楽器演奏による飛沫感染を防止するため、間隔をあげ一方向を向いて演奏している。
- ・唾抜き部分にビニールを被せ、楽器に溜まる唾の処理を的確に行い感染対策を行っている。

### ■ 事業の成果と課題

- ・新しく入部したクラブ生に、経験者が補助をする姿も見られ、責任感や協調性を養うことができた。
- ・開催時間帯が夜間であるため、保護者の送迎等による理解とあわせて防犯対策を十分に講じる必要がある。



【 発表会出場 】

報告書記入者（ 公民館 公民館係 ）